

今月の ひとこと

コロナ・ウィルス問題は深刻なのですが、社会の動くスピードがゆっくりになってきて見えてくることもあります。世の中が静かになってみると、いかに我々の普段の毎日の生活が忙しく、あわただしく、高いテンションに囲まれているかを感じます。また、我々の毎日の行動がなんと無駄の多いものか、本当に自分の人生にとって何が必要なことか、改めてそんなことも考える機会を与えてくれている気がします。同じことが経済全体にも言えそうです。なんでもすぐに「経済効果」に換算し、とにかく成長をしていなければ大変なことになると信じ切っている。社会全体でも人口が増え続けなければ大変なことになると信じ、なんでも拡大していなければ不安になる。コロナ・ウィルス問題は人類にとって大きな危機ですが、同時に我々の生活スタイルへの警告でもあるのかもしれません。

++++
FIWAからのお知らせ

岡本和久 Webinar講演会のお知らせ
2020年5月31日(日) 開催時間 13:30~16:00
Zoomにより開催
岡本和久講演「お金と心2020」
詳細は本メールの「セミナー案内」をご確認ください。

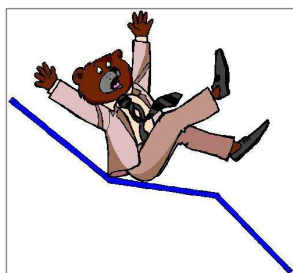
2020年6月27日(土) 開催時間 13:30~16:00
Zoomにより開催
岡本和久講演「子供にお金をどう教えるか」
詳細は本メールの「セミナー案内」をご確認ください。

++++
FACEBOOK上で3600人以上のクラブ・インベストラ이프の仲間が参加し、活発な議論をしています。投資未経験者の方の質問や疑問も大歓迎です。FACEBOOKに登録している方、ぜひ、ご参加ください。(FACEBOOKに継続的に投稿を行っている方に限定させていただいています)

++++

こんな時こそ基本に戻ろう いま、投資が心配な人へのメッセージ

寄稿 岡本 和久



私は株を売却する時は、以下の四つだけであると考えています。第1に「選んだ会社の経営姿勢が明らかに買った時から悪化してしまった」とき。2番目が「いいと思って買ったが、明らかに自分の判断が誤っていた」とわかったとき。3番目は「設定した投資目的が完全に満たされた」とき。つまり、リタイアして取り崩しモードに入ったとき。最後の4番目は「人生に大きな影響を与えるような重大な資金需要が発生したとき」、これらの四つです。逆に言えば、これら以外の時は、株を売ることはない。株は売らない、売るべきでないということです。それが基本的には成功への道です。

I-OWA マンスリー・セミナー講演より 戦前・戦後の国債・株式市場

講演：平山 賢一氏 レポーター：赤堀 薫里



世の中、数十年単位で、だんだん右の方に行くのと左に行くのが、行ったり来たりしている。今は右の方に行っている。右とは国や政府の力が強くなる。左は自由。民間の力が強くなる。少し前までは、グローバル経済やトランスナショナル化、民営化。民間の力が強くなる時代が90年代にありました。ところがITバブルの崩壊。米国でいうと、1999年~2000年3月にかけて株価のピークを迎える時に、民間の力が大きくなる時代がピークを迎えました。

I-OWAマンスリー・セミナー講演より ファイナンシャル・ヒーリングの4本の柱

講演：岡本 和久 レポーター：赤堀 薫里



「生涯を通じた投資で成功するためには、飛び抜けたIQも非凡なビジネス・センスもインサイダー情報もいらない。ただ、必要とされるのは、投資判断のための健全で知的なフレームワークと、感情のプレがそのフレームワークを破壊しないように心掛けることだけである」と「賢明なる投資家」というベンジャミン・グレアムの日本語訳の本の序文にウォーレン・バフェットさんが書いています。「投資判断のための健全で知的なフレームワークが必要だ」ということは、投資教育の部分です。「感情のプレがそのフレームワークを破壊しないように心掛ける」これは、ファイナンシャル・ヒーリングの部分だといえるでしょう。投資教育と、ファイナンシャル・ヒーリングは車の両輪になって進んでいくべきものなのだと思います。

知って得する、ちょっと差がつく トリビア・コーナー

トリビア研究家 末崎 孝幸氏

★ブレザー (の由来) ★モスバーガーの「MOS」は「山、海、太陽」の意 ★小学校に温泉? ★理系は駄洒落が好き(?) ★模写と贋作の違い ★キャンベラはなぜオーストラリアの首都になったのか

NPO法人 みんなのお金のアドバイザー協会～FIWA 設立記念講演会 IN 大阪

寄稿：岡本 和久



2020年2月2日に開催されたNPO法人 みんなのお金のアドバイザー協会～FIWA 設立記念講演会 IN 大阪での私の講演内容です。本当に良いアドバイザーとはどのようなものか、FIWAの仕事とは何かなどをお話しました

インベストライフ・アーカイブより 「簡単にできる投資情報の集め方、まとめ方」 (2005.02)

岡本 和久

投資をする場合、自分で銘柄を選択する際に大切なことは、何といても情報収集でしょう。特に、個人投資家の方は、最初から「情報収集なんて無理だよ」とあきらめがちです。しかし、まず、自分自身の注意を経済や企業の動きに向けて、それを蓄積していかないことにはとても自分自身で銘柄を選ぶことなどできません。そこで今回は、投資情報の集め方とそのまとめ方についてコツを伝授しましょう。

参考データ・コーナー

基本ポートフォリオのパフォーマンス

データ提供：イボットソン・アソシエイツ・ジャパン/投信まとなび

基本ポートフォリオのパフォーマンス 3月は4資産成長型が-5.36%、2資産成長型が-6.95%のパフォーマンスでした。世界各地のパフォーマンスは <https://www.ibbotson.co.jp/market/> でご覧いただけます。

投信データ・ウォッチ

データ提供：イボットソン・アソシエイツ・ジャパン/投信まとなび

今回は純資産上位ファンド（毎月および隔月決算型を除く）の運用状況の運用状況をリストアップしていただきました。2020年3月時点でトップは次世代通信関連 世界株式戦略ファンド（三井純友トラスト）、2位がひふみプラス（レオス）、3位がグローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド（為替ヘッジなし）(AM-One)でした。

I-OWAたより

岡本和久のI-OWA日記

★コロナ君と人間 ★感染予防か、経済か ★「帰らぬ人」ではない ★パニックになると・・・ ★Zoomでランチ会 ★こんな時こそ意識を内側に向ける ★何があっても桜は咲く

[詳細はこちらをご覧ください。](#)

セミナー案内

175 マンスリー・セミナー (Webinar)

開催日 4月19日(日) 開催時間 12:30~16:30

Zoomにより開催

講演 (1) 達人たちの投資哲学 (岡本 和久)

講演 (2) 為替市場の見方 ~「相対的購買力平価と実質相場指数で見抜く為替相場の割高・割安~」(龍谷大学教授 竹中 正治氏)

Webinarスポット受講料: 5000円+税 お申込み、お問合せ: info@i-owa.com

176 マンスリー・セミナー (Webinar)

開催日 5月17日(日) 開催時間 12:30~16:30

Zoomにより開催

講演 (1) 和風資産運用と企業経営 (岡本 和久)

講演 (2) 「最近の資産運用業を取り巻く環境と投信会社のビジョン」(三菱UFJ国際投信(株)常務取締役 代田 秀雄氏)

Webinarスポット受講料: 5000円+税 お申込み、お問合せ: info@i-owa.com

岡本和久 全国Webinar

開催日 2020年5月31日(日) 開催時間 13:30~16:00 (12:00~17:00)

Zoomにより開催

講演会プログラム

1. 岡本和久講演「お金と心2020」13:30~16:00

- 人生100年の資産運用
- 良いアドバイザーの見つけ方、使い方

2. 質疑応答

参加費 1000円 (テキスト代別)

講演ではテキストとして「お金と心~200パーセントのしあわせ持ちになれるシンプルな生き方」(知玄舎刊、1400円+税)を使います。アマゾン等で事前にお買い求めください。 <https://amzn.to/2X2U4vu> (電子書籍もあります)

お申込み info@i-owa.com 宛、お名前(必須)、メール・アドレス(必須)、電話番号(必須)、その他コメントをご記入の上、メールをお送り下さい。下記の銀行口座に参加費1000円をお振込み下さい。

(振込締切日は5月20日) 振込確認をもってご予約完了とさせていただきます。

【銀行振込先】三菱東京UFJ銀行 恵比寿支店 (店番136) (普) 1652178

(口座名義) I(アイ)-O(オー) ウェルス・アドバイザーズ (株)

カナ入力) アイオ ウェルス アドバイザーズ カブシキガイシヤ

その他 主催: I-Oウェルス・アドバイザーズ株式会社

お申込みお問合せ: I-Oウェルス・アドバイザーズ(株)

info@i-owa.com 担当田辺

177 マンスリー・セミナー (Webinar)

開催日 6月21日(日) 開催時間 12:30~16:30

会場 I-OWAオフィスまたはZoom

講演 (1) 証券の価値を求めて (岡本 和久)

講演 (2)

「講談 太閤記より『金龍縄張りの由来』」旭堂 南海氏

「講談を語る」(対談、旭堂南海氏、石津 史子氏)

「教師体験と講演から学ぶ『相手にわかる話し方』」(石津史子氏)

Webinarスポット受講料: 5000円+税 お申込み、お問合せ: info@i-owa.com

岡本和久 全国Webinar

開催日 2020年6月27日(土) 開催時間 13:30~16:30 (13:00~17:00)

Zoomにより開催

講演会プログラム

1. 子供にお金のことをどう教えるか13:30~16:00

- 大人の体験談を話そう
- ハッピー・マネーR教室
- 起業家になろう
- 子供たちが反応する言葉

2. 質疑応答

参加費 1000円 (テキスト代別)

講演ではテキストとして「お金と心~200パーセントのしあわせ持ちになれるシンプルな生き方」(知玄舎刊、1400円+税)を使います。アマゾン等で事前にお買い求めください。

<https://amzn.to/2X2U4vu> (電子書籍もあります)

お申込み info@i-owa.com 宛、お名前(必須)、メール・アドレス(必須)、電話番号(必須)、その他コメントをご記入の上、メールをお送り下さい。下記の銀行口座に参加費1000円をお振込み下さい。

(振込締切日は5月20日) 振込確認をもってご予約完了とさせていただきます。

【銀行振込先】三菱東京UFJ銀行 恵比寿支店 (店番136) (普) 1652178

(口座名義) I(アイ)-O(オー) ウェルス・アドバイザーズ (株)

カナ入力) アイオ ウェルス アドバイザーズ カブシキガイシヤ

その他 主催: I-Oウェルス・アドバイザーズ株式会社

お申込みお問合せ: I-Oウェルス・アドバイザーズ(株)

info@i-owa.com 担当田辺

[詳細はこちらをご覧ください。](#)

クラブ・インベストライフとは？

人生を通じての長期投資は孤独な長旅です。この長旅に耐え、大きな喜びを得るには、資産運用を行うための基礎となる知識と孤独な旅を支えあう仲間が必要です。「将来の自分はいまの自分が支える」ほかない時代、クラブ・インベストライフの活動は、豊かで幸せな人生のための投資を目指しています。

毎月、ネット上で会報誌を公開するほか、FACEBOOKやTwitter上で議論の場を提供し、各地でのセミナーを開催しています。

まったく投資の経験のない方も多数、参加しておられます。大手金融機関から完全に独立しているので、特定の商品をお勧めすることも販売することも一切ありません。

<FACEBOOK、TWITTERへの投稿の際のお願い>

1. 個別商品の販売・推奨、あるいはそれに類する投稿はご遠慮ください
.....
2. 発言はあくまで個人としてのものと
してください
.....
3. 企業広告をご遠慮ください
.....

I-Oウェルズ・アドバイザーズのメール・マガジン

メルマガへのご登録は下記のメールアドレス宛に、空メールを送信下さい。購読は無料です。

mag@i-owa.com

毎月15日配信 無料

Facebook

Facebook上のグループ、
クラブインベストライフ
<http://www.facebook.com/groups/investlife/>

Facebookへの登録が必要です。リクエストボタンを押して入会申し込みをしてください。

[Facebookへはこちらをクリック](#)

Twitter上のグループ
クラブインベストライフ
http://twitter.com/c_investlife

Twitterへの登録が必要です

 [@c_investlife](#)さんをフォロー


バックナンバー | 一覧

- [2020年03月05日発行 Vol.207](#)
- [2020年02月17日発行 Vol.206](#)
- [2019年12月30日発行 Vol.205](#)
- [2019年12月16日発行 Vol.204](#)
- [2019年11月03日発行 Vol.203](#)

- [2019年10月14日発行 Vol.202](#)
- [2019年09月16日発行 Vol.201](#)

ウェブ化以前のバックナンバー

2012年12月までに発行されたインベストライフをご購入いただけます。



[購入・詳細](#)

[Page Top](#)



こんな時こそ基本に戻ろう いま、投資が心配な人へのメッセージ

寄稿：岡本 和久、

私が証券会社に就職したのは1971年4月1日でした。その日の日経平均は2414円でしたので、2月上旬の高値でほぼ10倍になったということです。証券会社に入社して本格的に証券市場に入って49年。私が初めて株式投資をしたのが大学4年生の時でしたので、投資歴50年ということになります。その間に非常に多くのことがありました。

入社した年1971年の8月には、ニクソンショックがありました。当時は株価を示す電光掲示板もなく、黒板が下落を示す青いチョークで書かれた数字で真っ青になっていたのをよく覚えています。1973年には第1次オイルショックがありました。その後、75年まで日本経済は非常に苦しい時期があったわけです。スタグフレーションと言われた時期です。

しかし、日本経済は省エネ・省力化努力によって国際競争力をつけ、輸出主導型の経済を押し進め、この国難を乗り切りました。しかし、これが米国を中心とする海外からは批判を受けました。貿易摩擦の激化の時代です。

1979年には第2次オイルショックが起こり、これも乗り切りましたが、1985年にはプラザ合意で急激な円高が起こりました。輸出には悪材料なので企業収益の悪化が懸念されましたが、これも企業努力で何とか乗り切ったのです。その後、成功体験に浮かれすぎたこともあり、80年代後半はバブルの時代となりました。1987年の世界的株価暴落、ブラック・マンデーは乗り越えましたが、価値を大きく離れた株価が価値に戻るのは当然です。90年以降、構造不況で株式市場は低迷を続けることになりました。

日本が構造不況に悩む中、世界的にも大きな株式市場の下落がありました。2000年のITバブルの崩壊です。2001年には米国で同時多発テロが起こりました。日本では2011年に東日本大震災が起こり、東北地方が壊滅的な打撃を受けました。そして、米国の住宅バブル崩壊に続くサブプライムローン問題の顕在化(2007年)、リーマンショック(2008年)、ユーロ危機(2010年)、チャイナショック(2015年)等々、まあ、どのような名前を付けようと次から次にいろいろなショックが世界を襲ってきました。





長期投資仲間通信「インベストライフ」

そして今、新型コロナウイルス・ショックが全世界を襲っています。株式市場は大きく下落する一方、割安感から少しでも良いニュースが出ると急反発をしたり、また下落をしたり、かなり乱高下が続いています。考えてみれば私の体験した半世紀だけでもマーケットとはいつも危機が起きるのが普通のようなものです。とは言いながら、暴落は毎回心配になるものです。

リタイア後のために長期的視点で投資をしている方でも、かなりヒヤヒヤドキドキしている方が多いことでしょう。時として背筋が寒くなることもあるかもしれません。しかし、私の投資体験で言えることは、相場が下がったからと言って売却をした人は最終的には儲かっていないということです。

もちろん相場の天井がわかり、そこで売ることができればいいのですが、そのように確実にピークを言い当てることはできません。多くの場合、ピークには買いたくなくなってしまふ人がほとんどです。下げ相場で、とりあえず売っておき、もっと下がったところで買いなおせばいいと思う人もいるかも知れませんが、それはまずうまくいかない。結局、売ったところがどん底ということになるわけです。

証券市場におけるとても皮肉な現象は、「自分だけは」と思って行う行為が、実は多くの人と同じ行為であるということです。証券市場は最大多数の参加者にとって最も不都合なことが起こる場所なのです。本当に長期投資というのは始めることよりも続けることが難しいのです。そして続けなければ成功はないのです。

私は株を売却する時は、以下の四つだけであると考えています。第1に「選んだ会社の経営姿勢が明らかに買った時から悪化してしまった」とき。2番目が「いいと思って買ったが、明らかに自分の判断が誤っていた」とわかったとき。3番目は「設定した投資目的が完全に満たされた」とき。つまり、リタイアして取り崩しモードに入ったとき。最後の4番目は「人生に大きな影響を与えるような重大な資金需要が発生したとき」、これらの四つです。逆に言えば、これら以外の時は、株を売ることはない。株は売らない、売るべきでないということです。それが基本的には成功への道です。

売らないでずっと持ち続けるとしたら、何を持っていたらいいのでしょうか。株価の下落は売る理由にはなりません。投資をしている対象は企業です。株価ではないのです。株価はしよせん、価値の影でしかありません。影は投資家の心理によって大きく見えたり、小さく見えたりします。投資家心理は欲望と恐怖の間を目まぐるしく行き来しているのです。影である株価を対象に売買するのは投機です。

先ほど述べた株を売る理由のうち、1番と2番は基本的に個別銘柄の選択にかかわるものです。ではずっと持っても鮮度が落ちない投資対象とはどんなものなのでしょう。それは全世界の主要株式全てに投資する世界株インデックス・ファンドです。日本も含めた先進国と新興国のすべ



長期投資仲間通信「インベストラ이프」

て、そしてすべての主要産業、大きい企業も小さい企業もこれらを全部まとめて保有する。国にも産業にも企業規模にも分散する。まさに、「分散・分散・分散」です。その具体的投資対象が全世界の株式インデックス・ファンドです。

とてもありがたいことに、このような「全部入り」のファンドが一口 5000 円とか 1 万円ぐらいで十分に投資ができます。どこの国が成長しそうとか、どの産業が良さそうとか、どこの企業が儲かりそうとか、そのようなことは一切考える必要はないのです。全てを持っていけばそれでいいのです。

もちろん、株価が上がりそうな銘柄がわかればそれだけを持っていけば全体を持つより高いパフォーマンスを得られます。しかし、それは二つの点で難しいのです。まず、そのような銘柄を見つけることが極めて困難であること。超優秀なプロが血眼になってそのような銘柄を探しているのがアクティブ運用のプロの世界です。そこにシロウトさんが参入しても餌食になるだけです。もう一つの難しさがタイミングです。仮に(非現実的ですが)そのような銘柄がわかったとしても、それをいつ買って、いつ売るのがよいか的確にわかるのは極めて困難です。そして、売ったら次の有望銘柄を見つけなければならない。これがまた難しい。

これら二つの困難を乗り越えて儲かったとしても、ほぼ 100 パーセントそれはラッキーだったということです。逆に失敗するとそれまで一生懸命積み上げた利益が吹っ飛んでしまうのです。そんなことより「世界全部入り」のファンドを持っていけばいいのです。所詮、個別銘柄や産業、国などへのベット(賭け)は全部入りをバケツの水に例えればどこに波立ちがあるかという世界でしかありません。

株式投資のリターン源泉は、民間企業が社会に生み出す付加価値です。それらの付加価値をすべて合計したものが世界経済です。世界中の主な民間企業を全て持っていけば、世界の経済成長なみのリターンを得ていくことができます。なぜなら世界の経済成長は民間企業が実現しているからです。公的部門は、民間部門が活動しやすくするため、国民の安心安全のための働きをします。しかし、それは収益を得るためにしているわけではありません。あくまで民間部門をサポートする役割を果たしています。

世界の経済成長は、名目 GDP 成長率で表されます。ご存知のように名目 GDP の成長率は数量の成長率と物価の上昇率(デフレーター)から構成されています。ということは民間企業の投資のリターンは、世界の物価上昇率と経済の数量成長率の両方を含んでいるということになります。それによって、株式投資は人生を通じての長期投資の目的である「購買力の維持+アルファ」が達成されるわけです。

しかも、投資先の民間企業の価値は増加します。民間企業は株主から預かっている資金を活用して収益をあげます。その収益率が株主資本利益率(ROE)と呼ばれる指標です。企業が得た収益



長期投資仲間通信「インベストラ이프」

の一部は、投資家に配当金として支払われ、残りは株主資本に内部留保として付け加えられます。そして次の年に少し大きくなった株主資本からまた新たな利益が生まれてきます。それがさらに配当金と内部留保になるのです。長期間にわたるこの繰り返しで価値が増加していくのです。

株式を保有するということは、企業の株主資本を保有するということです。そしてその株主資本は毎年、毎年、価値が増大していくのです。もちろん、たったひとつの企業のみを持っているとその企業が不幸にして倒産してしまうこともあるでしょう。しかし、全世界の主要な産業の主な企業を全て保有していれば、全部が潰れるということはありません。

例えばリーマンショックの後のように、全世界の多くの産業や企業が不況に陥ることもあります。今のコロナウィルス・ショックも同じことです。しかし、私がこれまで体験してきただけでも数多く発生した問題はそれなりに克服され、状態は正常化していくのです。それが人類の英知というものでしょう。一時的に苦しい時期には実は世界的に潜在的な需要が累積され、回復の兆しが見え出すと、その需要が急速に溶け出して企業の成長の源泉となります。

大切なことは、長期的に見れば主要国・主要企業を全て含む全世界に分散されたポートフォリオは、その価値が増加していくということです。人生を通じての資産運用は数年単位のものではありません。数十年単位のものであります。そして、数十年のうちには、短期的には山あり谷ありですが長期的には世界経済全体は拡大します。そして、投資家はその恩恵を得ることができるのです。世界経済が拡大するのは、もちろん、人類がより良い生活を望んでいるからです。発展途上国、新興国の生活水準がより良くなっていきます。世界中でインフラ投資が起こっています。新技術の開発も進んでいます。そのような非常に長期的な成長を取り込んでいくのが、人生を通じての資産運用なのです。

ジョン・テンプレートン卿は私が最も尊敬する投資家の一人です。彼は多くの投資に関する金言を残しています。その中でも私が最も好きなのは「悲観論が最大になった時が最良の買い場。楽観論が最大になった時が最良の売り場」というのがあります。つまり、市場の中の大勢を占めるセンチメントは間違っていることでしょう。多くの人が悲観論が最大になった時に売り、楽観論が最大になった時に買って失敗するのです。

また、テンプレートンさんはこのようなことも言っています。「他の人が落胆のうちに株を売却している時に買い、欲に駆られて買っている時に売る。それを行うには、最大級の不屈の精神が必要である」と。テンプレートンのような人でも最大級の不屈の精神が必要なのだと感じます。日本にも「人の行く裏に道あり、花の山」という有名な相場格言があります。また「山高ければ谷深し」とも言いますが、同時に「谷深ければ山も高い」のです。



長期投資仲間通信「インベストラ이프」

底がいつか、天井はいつか、そのタイミングを当てようとするのは無駄な努力です。ですから、世界全体の株式インデックス・ファンドを毎月、毎月、一定額、自動で引き落とし買う。つまり積立投資を行ってあげればいいのです。安い時は多めの口数、高い時は少なめの口数、これを何十年も続けてあげればいいのです。

そしてリタイア時に退職金が出たらそれは全額、債券型のファンドにする。これによってリタイア後の急激な株価変動のリスクを緩和します。退職金が出ない人もいますでしょう。そのような方は少し早めに債券型のファンドも積み立ててあげればいいのです。

リタイアしたらこれまで積み立ててきた退職後のための資金を少しずつ取り崩していきます。取り崩す金額は、自分が想定する余命年数でその時々の金融資産の時価を割り、その金額分、株式ポートフォリオを売却してその資金で生活をしてあげればいいのです。毎年引き落とせる金額は変動します。しかし、その代わりに想定した年齢まで絶対に資金が枯渇することはありません。毎年、株式を現金化することにより、年齢が高齢化するほど株式の比率は低下をしていき、トータルで見てポートフォリオのリスクの水準が下がっていくのです。

先ほど紹介したテンブルトン卿はこんな言葉を残しています。

「21世紀が終わる頃にはダウ平均株価は100万ドルにも到達しているだろう。だから100年保有するつもりなら、目をつぶって株式投資をしても見通しは極めて明るい」

それぐらいの気持ちで人生を通じての資産運用を行ってあげればいいのです。このように乱高下が続く時こそ、ただ淡々と積立投資を続けてあげばよいのです。とにかく安く買える時に多めの口数を自動的に買えばよい。それが最も重要なことだと、私は50年の体験から今日、強く感じています。



I-OWA マンスリー・セミナー講演より 戦前・戦後の国債・株式市場

講演： 平山 賢一氏
レポーター： 赤堀 薫里

今の時代は環境として言えることは世の中がライト・ウイング化しているということです。政府が強くなる。経済敗戦が知らぬ間に足下に迫ってくる。まずはライト・ウイング化のお話です。

今は動いているのでスウィングとっていいのかもしれませんが。レフト・スウィングとライト・スウィング。世の中、数十年単位で、だんだん右の方に行くのと左に行くのが、行ったり来たりしている。今は右の方に行っている。右とは国や政府の力が強くなる。左は自由。民間の力が強くなる。少し前までは、グローバル経済やトランスナショナル化、民営化。民間の力が強くなる時代が90年代にありました。ところがITバブルの崩壊。米国でいうと、1999年～2000年3月にかけて株価のピークを迎える時に、民間の力が大きくなる時代がピークを迎えました。



左に行き切った時に右に行きます。民間から国や政府の力が強くなる。2001年9月11日。あの辺りから世の中の雲行きが怪しくなってきた。米国が中東へ行って戦争をする。みんなの仲が悪くなってきた。

レフトに行く時はみんなの仲が良い。協調の時代、平和の時代、統合化の時代。一方で右に行く時は、対立と戦争、仲が悪くなる時代、分裂化。経済の流れでいくと、左へ行くときは、自由貿易、グローバル化。成長率もどんどん高くなりやすい。右に行くときは、保護貿易、ブロック化です。

金融市場は、左へ行くときは規制緩和。そのかわり民間が活発になるので、民間の人が借金をして設備投資をしようとする。だから民間の債務が大きくなる。行き切って、プライベートデットバブ





長期投資仲間通信「インベストラيف」

ル。民間のセクターのデット、負債、借金がたくさんになる。1990年代は通信技術のバブルでした。いっぱい借金をする。やり過ぎてしまいITバブル崩壊で、金融市場が落ちてくる。2000年3月をピークにして3年連続の株価の下落を米国が経験します。

国が何とか救おうとします。グリーンSPANは、企業はやばいが個人にはいっぱい貸付をしていいとした。あまり借金できない個人が、金を借りて家を買ったのがサブプライムローンでした。民間の中でも個人に借金をさせた。それがやり過ぎて、リーマンショックでひっくり返った。そこでリーマンショック以降、国が金融機関にお金を入れた。米国、中国、欧州、日本、みんな国の借金がどんどん増えていきます。そして、マイナス金利、量的緩和(QE)につながっていきました。

今は右側の極に近づいている。パブリックデットバブルです。金融市場が不安定になってしまうので、国がお金を入れている。そうしないと株価が落ちる。株価が落ちると支持率が落ちる。だからお金を投入して株価を持たせているわけです。株価が一種のゾンビ化しているというのが現状です。これは今に限ったことではありません。ライト・スウィング化したのが、1910年代、みんな仲が悪くなり、第一次世界大戦が勃発した。

終戦後、1920年代は仲良くなろうと方向転換して経済が良くなります。米国の株価もどんどん上がりますが、民間セクターがいっぱい借金をし過ぎて1929年に米国の大暴落が起こります。20年代から40年代に、国がお金を入れた。この当時、米国の経済学会長が「世の中は長期停滞に入った」と言いました。最近も、似たような事をサマーズさんが言っています。歴史は繰り返します。

1930年代、テネシー河の流域の開発や公共投資をやった。財政政策です。国の借金が増えて国債の金利が上がってはいけないと、FRBが金利を引き下げる。国債の金利を2.5%に貼り付ける。同じようなことをやっています。この時に3回に渡ってお金を入れています。ハイパワードマネーの上昇率が、対GDPで3回大きな山がありました。40年代は戦争です。戦争をしてモノが壊れ、モノが不足した。日本が不足の恐怖になったのが1943年からです。そうして物価が上がり始める。物価が上がり始めると金融市場が一番だめです。

講演の前半では、情報を軽視して作戦を偏重すべきではないことを、第2次世界大戦と日銀の金融政策を例に説明されました。1940年代と現代を比較して、類似点と相違点の解説、40年代化する国債株式市場の説明などがありました。最後に人生のライフプランニングをしていく上では、情報は非常に重要であり、その上で判断していくことが大切だとお話くださいました。



I-OWA マンスリー・セミナー座談会より

平山賢一氏、三和裕美子氏とのフリーディスカッション

岡本 | 振り子の話で、対象になるのが、国や政府 VS 民の力というお話でした。極端に偏ると非常に不愉快な状態がどこかに起こるわけで、それが戻っていくという振り子の原理が働いていく。ただその中心点になるのは、民の力がだんだん強くなっていくのかなと思います。ちょうど株式市場でも、上下運動を繰り返しながら、中心点は少しずつ上がっていくことと非常に似ているのかなと思うのです。

今、国や政府と、民を分けていますが、それが長い歴史を見たときに正しい区切りなのか。やはり、個と集団というかたちで見るべきではないのかと思います。

国ができたというのは、そんなに古い話ではないし、もっと昔、アフリカに人類が発生してからを考えれば、少ししか歴史はありません。

国という組織は全体のためなのか、個のためなのか。そのように見たときに、個の力が、一つは情報化で強化された。

産業革命の時も情報化があり個が集団に近い力を持つようになってきた。そういう大きな変化を考えたときに振り子はあるのだろうけれど、振り子の振れ方がずいぶん変わってきたのではないかという気がします。1人1人が非常に大きな力を持つようになってきた。さらに暗号資産にも現われてきた。そういう意味で国対国民という切り分けよりも、大きい切り分けの方が見えて面白いという気がします。



平山 | 振り子の歴史は百数十年分しかない。二千年位のスパンで見ると、もう少し分かりやすい軸があります。お金が一つに集まるか、平等化するか。不平等か平等か。基本的に、お金は一つの所に集まる傾向性があります。これをやり過ぎると不平等になるので平等化する。

付加価値、富が蓄積されるということは、誰かが分捕っているわけです。猿のボスがいるかどうかというのが根本的な考えです。ボスができて、そのボスが交代するかどうか。ボスのお金がみんなに平等化するかどうかは、大きなチェンジがないと起こらない。ある事象が起きると、集まった富が拡散する。平常時は集まってしまう。拡散するのは、一つは革命で



長期投資仲間通信「インベストラيف」

す。大戦争、疫病もそうでしょう。大戦争や疫病になるとたくさん人が死ぬので労働力がなくなる。すると、地代をもとにした資本家たちが、畑を耕す小作農と契約ができなくなるので、地代が下がる。そして、土地を持っている人の利益率が下がり、労働コストが上がる。つまり、賃金が上がる。富が拡散する。

戦争は、お金を持っている人から分捕るという帰結に陥る。今までの既存の体制が壊れる。人類の歴史で見ると、富が特定の所に集まるケースと拡散するケースで動いてきている気がします。国という意味でいうと、昔は富が集まる所が、権力とイコールでした。ここ百数十年、ある程度、デモクラシーが浸透しているので、このような整理で見た方がわかりやすいのかなと思います。

岡本 | 結局、富、お金はエネルギーであり時間である。他の人間のエネルギーや時間を支配できる人たちの集団と、支配される側の人間の集団のバランスがどうなっているのかということですよ。現代的に言うと、国かどうかということですよ。

個か全体かと言うと、アメリカは個になってきています。その前はアメリカの国民が一つずつバラバラで全体が米国。日本人がいて日本が全体という時代がありました。今は国も一つずつの個になってきている部分があるわけです。全世界というのが一つの全体になりつつ、なかなかきれいな。今いろいろな問題が起こっているうえで、そのところに葛藤があるような気がします。非常に面白いテーマですね。

三和 | 今、お金はエネルギーで、そこで支配関係ができてくる。パラサイトという映画がアカデミーを取りましたが、まさに象徴しているようです。それがアカデミーを取るところが全面に出ていて、個のエネルギー、個の主張というものが最近出ているのかなと思います。平山さんのスウィングを見ると、ライト・スウィングの方へ向かっていましたが、個の動きとしては反対側へ向かっているのではないかと思います。

岡本 | トレンドの問題だと思います。

三和 | SNS とかね。

平山 | 個が物事を変えようとするのかどうか。それは、人口要因が強く、20代前後の人がいるかどうか。日本は、10代後半から20代にかけて人口比率が高まった時は、安保闘争の時でした。中国では1989年の天安門。米国は、ヒッピーがいっぱい出てきた。世の中において、個の力が爆発的に世の中を変えようとする時は、若い人の人口が増える時。それは世界的に見てどんどん減ってきています。世の中を変える個の力が弱くなってきている。国みたいなものが、力が強くなっている反対側に存在しているのかなと思います。



長期投資仲間通信「インベストラ이프」

岡本 | 例えば、フェイスブックやアマゾン是个ではないけれど、国に代わる権力集団かもしれないですね。

平山 | そうですね。個が、刃をむける相手がわからなくなって、その力が、一つの違うトランスナショナルなコーポレーションに取られていっている。

岡本 | その分、国の立場が少し弱くなってきている。

平山 | 国よりタチが悪いと思います。トランスナショナルな組織を我々は選べない。民主主義によってできない。国が個に対して力を持つ以上に、もっとやばいことになる。

岡本 | それはどうでしょう。逆に民間企業であると、エンゲージメントということもあり、統治していくことは、消費者としても従業員としてもできる。資本の出し手として、本当は個人が統治できるはずですね。

平山 | 一方でフェイスブックの株式構成は全然違っています。議決権を持っているのはザッカー・バーグを中心とした周りの人たちで、株式も種類株に分かれています。そんなことを考えていると、ガバナンスが働かない企業が、ドミナントになった時の怖さがあると思います。それに対して危機感を持っているので、国もそうですし、一部の人たちは批判的に見ている。

三和 | テスラ、フェイスブックのようなガバナンスが効かないけど株価が上がっているという企業の時価総額がすごいですね。そういう問題と、フェイスブックの利用者、顧客側の層を見ると確かに若者の人数が減っていますが、彼らは30代40代と主要な消費者層になっていきます。すると企業はその人たちを無視できない。国も無視できない。数は減っていますが、今の若者の意識の変革はすごいです。彼らの影響力、個としてのエネルギーは、反対側の方に向かっていくような気がするという話です。
また、この振り子は新自由主義やケインジアンの流れがどのように収まるのか。米国のことで考えてみると60年代はベトナム戦争があり、国際的に平和ではなかった。80年代のレーガノミクスやサッチャーは規制緩和の自由化。これはレフト・ウィングに入るの？という疑問があります。

平山 | 新自由主義的な部分は、いわゆるレフト・スウィングに入っていて、それはみんな自由にやっていいよという、どちらかというと、スミスを中心にした自由主義。

三和 | なんでレフトなの？普通はライトじゃない？



長期投資仲間通信「インベストラ이프」

平山 | レフトというのは左傾化という意味ではないです。ライトは右傾化と言いやすいので言っています。共産主義化ではないです。共産主義だと国家の力が強くなります。共産主義化と、国家主義化はイコールです。1940年代、一番仲が良かったのが共産党と軍部です。いわゆる経済官僚と言われていた商工省を中心とした企画委員とか商工省の人たちの官僚と、軍部は一緒になる。それは社会主義的発想、マルキシズムを信奉していた。国家が強くなるときは、この局面でみると、マルキシズム的なものと軍部が一緒になる。レフト・スウィングは、マルキシズムではないです。新自由主義です。右軸に行くのは社会主義化と国家主義化がイコールです。左に行く方は、一種のリバタリアンの発想にもなるので、経済思想でいくと、フリードマンやハイエクというのも左です。彼らは政治的な新自由は保守主義なので、そういう意味では交差するのは、リベラルという概念が二つあるのと同じことです。

岡本 | そういう意味でね、全体か個かという区分、個の自由度を守るのか、全体の支配力を強めるのか、その振り子である。全体の中にはもしかしたら企業も入るのかもしれないし、国家も入るのかもしれない。

平山 | そうですね。確かに全体と個、という意味で行くと、そっちの方がわかりやすいかもしれない。

岡本 | 確かに、方向性としては個が強くなっていることはずっと続いていると思います。やはり非常に大きな手段を得てきている。まさに振り子で揺れてはいるけれど、1人1人の人間が大切という方向に向かっているのではないかと思います。非常に大きな変化が起こっている時期です。我々が今まで当たり前だと思っていた事が、当たり前でなくなることも頭の片隅に常においておかないといけない時代なんだろうなと思います。今日は非常に高尚なお話をありがとうございました。



I-OWA マンスリー・セミナー講演より ファイナンシャル・ヒーリングの 4 本の柱と 72 の「癒やし」の語録

講演： 岡本 和久
レポーター： 赤堀 薫里

ファイナンシャル・ヒーリングの 4 本の柱というお話をします。

運用というものが、より長期的な視点で個人の判断に委ねられる部分が大きくなっています。一方でマーケットのボラティリティーそのものが非常に高まってきている。そのようなことを考えると、今ほど投資の耐久力、続ける力が必要になっていることはなかったでしょう。

長期投資の長旅の中で、いろいろな悪魔が出てきます。それに打ち勝つための癒やしやヒーリングが必要であると思い私はファイナンシャル・ヒーリングということを始めました。この分野を大きなカテゴリーとして 4 つに分類して、それをファイナンシャル・ヒーリングの 4 本の柱としました。

「生涯を通じた投資で成功するためには、飛び抜けた IQ も非凡なビジネス・センスもインサイダー情報もいらない。ただ、必要とされるのは、投資判断のための健全で知的なフレームワークと、感情のブレがそのフレームワークを破壊しないように心掛けることだけである」と「賢明なる投資家」というベンジャミン・グレアムの日本語訳の本の序文にウォーレン・バフェットさんが書いています。

「投資判断のための健全で知的なフレームワークが必要だ」ということは、投資教育の部分です。「感情のブレがそのフレームワークを破壊しないように心掛ける」これは、ファイナンシャル・ヒーリングの部分だといえるでしょう。投資教育と、ファイナンシャル・ヒーリングは車の両輪になって進んでいくべきものなのだと思います。

なぜ資産運用にヒーリングが必要なのか。長い人生を通じての資産運用は山あり谷あり。短期的な資産価値の変動はストレスを生む。ストレスを取り除く癒やし「ヒーリング」によって長旅に耐えられるということです。人生を通じての資産運用は、始めることより続けることが難しい。しかし、続けなければ効果が出ない。





長期投資仲間通信「インベストラ이프」

よく最近パフォーマンスを KPI という形で、運用会社の成果を測定するような部分があります。しかし、3ヶ月、半年、1年ごとでは、どうしても短期的になります。本当に測らなくてはいけないものは10年、20年です。やはり10年、20年という長期にわたって理論的に正しく実証的にも整合性があるような運用を長く続けていくことが大事です。年金の運用もパフォーマンス評価は3ヶ月ごとです。個人が使う投資信託のパフォーマンスの評価が、短期的なモノに押し込められていくことに懸念を感じています。

本当に大事なことは、「知」・「情」・「意」だとよく言われます。これをファイナンシャル・ヒーリングでコントロールしていく。そして、それが資産運用の耐久力につながっていく。「知」があればある程度、資産運用は始められる。でも人生を通して続けて行くためには、「情」の部分、感情の部分から発生するストレスをいかにコントロールしていくのか。そしてそれを揺るがない意志「意」が持続されなければならない。そのために必要なことは4本の柱だと思っています。

1本目が「投資理論」です。具体的には、投資理論や投資の哲学にからんだ部分。2本目はそれを実践する「資産運用」、具体的な運用の手法。実践方法。そして3本目が「歴史」。歴史が繰り返すわけではないけれど、歴史から学ぶことは非常にたくさんあります。そして最後が「お金と心」。自分の心の部分とお金との関係をきちんと抑えておくことが非常に重要だと思います。



まず、投資理論と投資哲学です。株式会社というものをきちんと学ぶべきだと思います。株式会社がどのように誕生して成り立ったのか。さらにそこにアダム・スミスの思想。株式と債券の本質とはなんだろうか。企業の成長がどのような形で起こっていくのか。さらには企業統治の問題です。このようなことも含めて株式会社を学ぶ。これはまず投資を始めるうえで一番大事なことだと思います。

講演では、今後、広まっていくであろう「アドバイザーアルファ」についての説明、ファイナンシャル・ヒーリングの4つの柱である、「投資理論」「資産運用」「歴史」「お金と心」について、それぞれのテーマをさらに細分化して解説。また、大変含蓄のある72の「癒やし」の語録を解説くださいました。

最後に岡本さんが最近、講演で聞き感動したという東北大学名誉教授石田秀樹さんの「自然こそが倫理観そのものです。自分の欲求のために、人類の欲求を満たすために自然を変えるのではなく、自然が喜ぶような人間の生き方をするようにしていかななくてはいけない。」という、深く考えさせられるメッセージをご紹介いただきました。



知って得する、ちょっと差がつく トリビア・コーナー

トリビア研究家 末崎 孝幸

末崎 孝幸氏

1945 年生まれ。1968 年一橋大学商学部卒業、同年日興証券入社。調査部門、資産運用部門などを経て、日興アセットマネジメント執行役員(調査本部長)を務める。2004 年に退職。Facebook 上での氏のトリビア投稿は好評を博している。



ブレザー(の由来)

19 世紀、ケンブリッジ大学とオックスフォード大学によるボートレースが開催された。その際、ケンブリッジ大学ボート部の漕ぎ手たちが母校のカレッジカラーである深紅のユニフォーム(ジャケット)を着ていた。このユニフォームを見た観客が「ブレイザー(燃えるような赤)」と叫んだことから、次第に「ブレザー」と一般用語になったのである。

なお、「燃えるような赤」は英語で blazing red(blaze は炎の意)という。ブレザーは生地には関係のない「観客の歓声」に由来する言葉である。

モスバーガーの「MOS」は「山、海、太陽」の意

モスフードは私が勤務していた会社の先輩(櫻田慧氏)が脱サラして昭和 47 年に創業した会社だけに親しみのある会社だ。モスバーガーの「MOS」は、Mountain(山のよ
うに気高く堂々と)、Ocean
(海のように深く広い心で)、





長期投資仲間通信「インベストラ이프」

Sun(太陽のように燃え尽きることのない情熱を持つ)の「山、海、太陽」の頭文字を繋げたものである。

モスフードは昭和 60 年に株式を公開したものの、櫻田慧氏は平成 9 年に 60 歳の若さで亡くなられた。現在の櫻田厚会長は櫻田慧氏の甥にあたり、昭和 47 年、叔父に誘われモスフードの創業に携わり、昭和 52 年に入社している。

小学校に温泉？

鹿児島県霧島市にある市立高千穂小学校、ここには小学校には珍しい温泉施設がある。1970 年(昭和 45 年)、近くのホテルが温泉を敷設するときに、お湯のパイプが旧高千穂小学校跡地を通ることになった。パイプを設置する代わりにお湯を無償で提供したいというホテルからの申し出があり、学校側が受け入れたのである。現在は学校プールの男女更衣室横に「わらべゆ」としてそれぞれ温泉が引かれているという。

ただし、児童の温泉施設なので、一般の人の入浴はできない。

理系は駄洒落が好き(?)

以下は今から 27 年前(1993 年)、81 歳で亡くなられた矢野健太郎氏(数学者)の随筆に出ていたものである。

明治の数学者には「しゃれ(駄洒落?)」好きが多かったという。その一例として、矢野氏の恩師である掛谷宗一博士はたびたび面白い洒落を言っていたそうだが、あるとき掛谷博士から風呂敷をもらったとのこと。そこには何と写真のような「 $\sqrt{-1}$ 」が染め抜かれていた。矢野氏は意味が分からず困惑していたら、掛谷博士は「してやったり！」とばかり「愛はすべてを包む」と言われたという。



(追記)

1. $\sqrt{-1}=i$ (アイ)・・・負の数の平方根である虚数は英語で imaginary number といい、数学界では頭文字をとって「i」という。
2. この話には後日談があり、矢野氏が女子大生にこの話をして「愛はすべてを包む」と言ったところ、女子大生は「掛谷先生の言い方は必ずしも正しくはない。『愛はときどきトラブルを起こす』としたら私には通じる」と言ったという。



模写と贋作の違い

有名絵画の真似をする場合、「模写」と「贋作」とがある。贋作は原作と同じ大きさを模倣し、詐欺などを働くために作成されるものだが、模写は必ずしも悪い行為ではない。それは模写には一定の定義があるからだ。

第一に正式な模写は、原作と同じ大きさでは描かない、第二は原作者の死後 50 年以上経過して、著作権が消滅したものを描く。ただし、模写作品は売買だけでなく、展覧会のようなもので「有料」で人に見せてはいけない。日本では贋作だけでなく、模写も悪い印象を与えられているためか、欧米のように模写専門の画家というのはほとんど存在せず、画学生が勉強のために描いている程度である。

キャンベラはなぜオーストラリアの首都になったのか

キャンベラがオーストラリアの首都になったのは 1908 年のこと。人口 36 万人の都市（国内で 8 番目）が首都になったのは二大都市であるシドニー（人口 463 万人）とメルボルン（同 435 万人）の争いの結果だ。首都を決定する時、シドニーとメルボルンが譲らず、どうしても決着がつかなかった。そこで、両市のほぼ真ん中にある「キャンベラ」が棚ぼたで選ばれることになったのである。

現在、キャンベラには国会議事堂、高等裁判所などの首都機能だけでなく、戦争記念館、国立大学、国立スポーツ研究所、国立美術館、国立博物館、国立図書館など多くの文化的、社会的施設がある。

簡単にできる

投資情報の集め方、まとめ方

岡本和久

投資をする場合、自分で銘柄を選択する際に大切なことは、何といても情報収集でしょう。特に、個人投資家の方は、最初から「情報収集なんて無理だよ」とあきらめがちです。しかし、まず、自分自身の注意を経済や企業の動きに向けて、それを蓄積していかないことにはとても自分自身で銘柄を選ぶことなどできません。そこで今回は、投資情報の集め方とそのまとめ方についてコツを伝授しましょう。

○ 情報は記録として残すことに価値がある

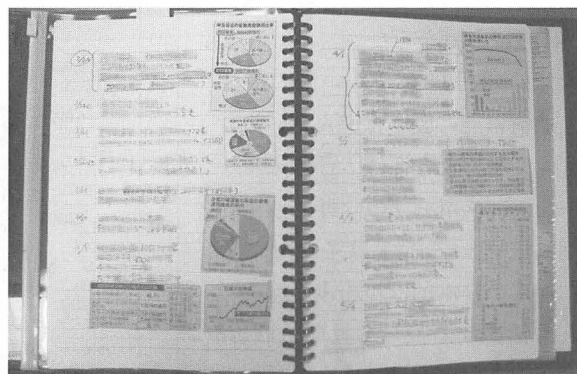
「予兆のない変化はない」と言われる通り、普段から十分に身の回りにある情報に注意していれば、かなりのことが予測できるはずなのです。例えば、新聞には毎日、膨大な量の情報があります。それを、ただ漫然と読んでいるだけでは、新聞を閉じた途端に内容を忘れてしまいます。せっかく新聞を読んで得た情報も、忘れてしまっては元も子もありません。だからこそ、それを記録として残すことが必要になってくるのです。

私はかつて、興味をひいた記事を切り抜いて、それをスクラップ・ブックに貼ったりしていたことがあります。ただ、これは手間と時間が非常にかかってしまいます。そして量が増えてしまい、その結果、後日、目的の記事を探そうとしてもなかなか見つからないことにもなります。また大体、新聞を切り抜く作業をすると、手が真っ黒になってしまうのも不愉快になってしまいます。

○ 「情報ノート」の活用法

そこで私は20年ぐらい前から「情報ノート」(写真)をつけ始めたのです。「情報ノート」といっても別に特別なノートがあるわけではなく、B5サイズのルーズリーフを活用しています。もちろん、好みでA4でもかまいません。私の場合は持ち運びに便利のようにB5にしているだけです。

そこに毎日の新聞で興味をひいた記事の日付と見出し



のみを書きます。これだと1つの記事が数行で終わります。大体、見出しの文章を見れば記事の内容の8割ぐらいはわかるものです。面白い表やグラフでもあれば、それも切って貼っておけば完璧です。

新聞だけでなく、雑誌でもいいし、テレビなどで面白いと思った話があればそれをメモっておいてもいいわけです。とにかくできるだけ簡略に書くことが必要なのです。もし将来、どうしてもある記事の全体を読む必要が出てきた場合は、図書館でその新聞の縮刷版を見ればいいのです。記事の日付がわかっているのだから、簡単に探すことができます。

そして、このノートを時々ペラペラとめくってみると、とても面白いものです。飛行機の窓から下界を見下ろしているように、世の中の動きがわかります。また、自分の興味がどのように変化しているのかも一目瞭然です。そして、その中から大きなトレンドを把握するのです。

情報ノートのメモがある程度たまってきたら、それを気になるテーマごとに分析してみると、なかなか面白い結果が表れます。

例えば、今後の景気動向が気になるなら、ノートの真ん中に縦に一本線を引き、景気にとってプラスなら左側に、マイナスなら右側に、そして、中立なら線の上に、過去2~3ヵ月分の関連記事の、一番大きな見出しのみを書き写してみる。そして右側と左側のどちらが増えていくかを見る。そのようなことをしていると、知らない間に自分自身の景況感というもの少しずつ養われてい

くのです。

情報の山の中に埋もれないための 「何でも3ポイント法」

ところで、かつて私はアナリストとしてたくさんの企業を訪問していました。企業を訪問するたびに大量の情報を得るのですが、そのうち情報の山の中に埋もれてしまって、何がなんだかわからなくなってしまうことがしばしばありました。誰しも持つ悩みだったのでしょ。そんな私に、親しかったアメリカ人のポートフォリオ・マネージャーが良い方法を教えてくれました。それはミーティングの結果を3つのポイントに要約して、訪問記録の最後に書いておくというものです。

これは非常に効果的な方法でした。どんなミーティングでも、最も重要なポイントというのは大体3つぐらいにまとまるものです。次の会議へ移動するタクシーの中などで、その3ポイントを絞り込むのです。これをするとそのミーティングの内容を復習したことになり、要点がはっきりしてきます。ということは、その3ポイントは記憶に残るわけです。後に、3ポイントを思い出すと、そのとき絞り込んだプロセスが記憶によみがえり、そのミーティング全体の印象が浮かび上がってくるのです。

もし、3ポイントでは足りないと思うときは、それはまだまだ絞り込みが足りないのでしょうか。もっと本当に重要なことを選別して考えをまとめていけば、3ポイントぐらいになるものです。反対に重要な点が3ポイントもなかった場合、それはミーティングの内容が不十分だったか、あるいは自分の注意力が足りなかったのかもしれません。大体、1時間もミーティングをするなら、せめて3ポイントぐらいは重要なことを見つけたいものです。また、ミーティングをする際は、相手の話の要点を3つ探すことに集中してみましょう。そうすることによって、中身の濃い会話ができるようになります。

やりだしてみるとこの方法は、非常に幅広い分野で応用できることがすぐ分かります。例えば情報ノート

をつけるとき、新聞記事を読んだらその内容を3ポイントにまとめておきます。そしてノートに書いた見出しの側に、その3ポイントをメモしておくのです。これは非常に有益な結果につながります。雑誌の記事でも同じです。テレビの場合は、何か面白い番組があったときに「なぜ、面白かったか」を3ポイントに絞ってメモしておきます。

このように情報を3ポイントにまとめることが上達してくると、今度はあなたが誰かに話をするときも、うまく内容をまとめて伝えることができるようになります。つまり、情報を与えたい相手に、どんな3ポイントを伝えるかをあらかじめ考えておき、それを強調して話をするのです。これを私は「何でも3ポイント法」と呼んでいます。

投資情報は、「手に入らない」ことに問題があるのではないのです。実は「多すぎる」ことが問題なのです。膨大な量の情報の中に埋没してしまって、何がなんだかわからなくなっていることが問題なのです。

それを「情報ノート」で簡潔にインデックス化しておけば、この問題は解決します。それをするによって社会、経済、産業などで起こっている事が大局的に把握できるようになります。そして、「何でも3ポイント法」で内容をまとめることにより、物事の本質をシンプルに理解できるように自分の脳をトレーニングしてゆくの。これらは私にとっては強力なツールです。✂

(おかもと かずひさ/投資顧問会社経営)





特定非営利活動法人 みんなのお金のアドバイザー協会～FIWA 設立記念講演会 IN 大阪 (開催日 2020 年 2 月 2 日)

講演: 岡本 和久

みなさま、こんにちは。みんなのお金のアドバイザー協会～FIWA の理事長を仰せつかっております岡本和久です。本日は大勢の方にお集まりいただきましてありがとうございます。

今日は「プロのアドバイザーと FIWA の役割」というお話をさせていただきます。多くの方が将来のことを考えて投資を始めようかなと考えていますが、現実にはなかなかそのハードルは高いものがあります。何をどうしたらいいのかわからないのです。まず、口座の開設から始まって、手続きを完全に終え、何もしないでも積立投資が続けられるようにしてあげる。つまり、列車がレールに乗って走っていけるようにしてあげる。それを自分一人でするのは、かなり大きなハードルがあるのです。そこできちんとアドバイザーを採用して、その助けを得ながら実行していくことが必要です。

リタイアまでまだ 20 年以上あるのであれば、全世界の株式インデックス・ファンドを出来る限りの金額で毎月積立を行えばいいのです。そしてそれをリタイアするまで絶対に止めない。実は、これが最も重要です。

リタイアまであと 10 年ぐらいあるのであれば、少し期間が短すぎると言わざるを得ません。やはり上記のような積立投資をすると同時に、きちんとアドバイザーを採用して自分の資産の状況を十分に把握して備えをすることが重要だと思います。

一番大きな問題なのはリタイアが目前に迫っていながら資産がほとんどない場合です。これはアドバイザーを採用してその全面的な支援を得て、資産・負債の状況、収入・支出、それらをすべて総合的に勘案してきちんとライフプランを作り資金の計画と準備をするということが必要だと思います

絶対にしてはいけないのはこのスライドにあるようなことです。要するにきちんとしたアドバイザーが本当に必要だということです。





長期投資仲間通信「インベストラ이프」

ただ一口にアドバイザーと言ってもいろいろな立場の人たちがいます。私はよく肉屋さんと栄養士の例を出します。プロの肉屋さんは仕事に誇りを持っていて、肉に関する知識も深く、良質の肉を適正な値段で販売しています。非常に信頼される評判の良い肉屋さんです。

一方で栄養士さんもあります。栄養士さんは相談者の健康のために最も良い食事の組み合わせを提案する人です。アドバイスをするのが仕事です。しかし、もし栄養士さんが兼業で肉屋をやっていたらどうでしょうか。まあ 100%ではないかもしれないけれど、やはりどうしても肉にバイアスのかかったアドバイスになってしまうことが考えられます。肉に対する愛着もあるでしょうし、また、肉屋ビジネスの収支の問題もあるでしょう。その結果、どうしても肉中心の食事をすすめることになってしまう。言ってみればアドバイスはこれまでお菓子のおまけみたいなものだったわけです。アドバイスはお菓子を売るための手段となることが非常に多かった。

アドバイザーに関してもいろいろな誤解があります。少し思いつくままに紹介しましょう。

絶対にしてはいけないこと

- ❖ 一発勝負に賭ける
- ❖ うまい話に乗る
- ❖ 理解できない投資商品を買う
- ❖ 値上がりしそうな銘柄で短期売買をする
- ❖ 何とかかなと思いつい何もしない
- ❖ 自分で何とかかなと色々試してみる
- ❖ 金融機関のアドバイスを鵜呑みにする

誤解	真実
アドバイザーは富裕層が使うものだ	すべての人にとってアドバイザーは役立つ
金融機関勤務だから良いアドバイスをくれるだろう	アドバイザーは金融機関からは独立している専門的職業である
FP とか IFA だから大丈夫だ	これらの資格を持っているすべての人が独立したアドバイザーとは言えない
アドバイスをただでもらえるならその方が良い	本当に価値のあるアドバイスは有料である
アドバイザー・フィーを支払うとパフォーマンスが下がる	不適切なアドバイスは長期的に大きなコストになる
過去のパフォーマンスが素晴らしいから安心	過去のパフォーマンスは将来の予測の役に立たない
アドバイス・フィーが高いほどパフォーマンスが良い	アドバイザーに関する情報を受け取り、面談して契約を結ぶ
アドバイザーの意見を疑うのは失礼だ	アドバイス内容につきセカンド・オピニオンをもらうことも可
アドバイザーを採用したらお金のことは任せておけばよい	結果はすべて自己責任



長期投資仲間通信「インベストラ이프」

アメリカやイギリスでアドバイザーの状況がどうなっているかを少しお話しておきたいと思えます。まずイギリスですが、2006年からRDR(金融商品小売販売改革)という抜本的制度改革が進みました。これによって非常に厳格にインデペンデント・アドバイザーという称号を支える人の定義が決まりました。そのポイントとなるのは、金融商品の選択範囲にバイアスと制約がないことです。UnrestrictedでUnbiased。すべての投資対象を検討して相談者にベストのものを選択する。その際、自分の利益に関係のない立場であることが要求されます。中立な立場ですべての対象の中から一番良いものをお客様のために選ぶ。これこそがインデペンデントなアドバイスであると定められました。

一方でアメリカでは販売員とアドバイザーを非常に明確に分離しています。販売員に要求されるのは適合性基準です。自分の利害ではなくて、お客様のニーズや状況に合ったものを売らなければいけない。昨年、さらに新しい法律ができました。これは最善規則(Regulation Best Interest)と呼ばれています。適合性のみでなく、お客様の利益のために一番良い商品を選びなさいという法律ができています。その意味では販売サイドも非常に規制の強化が進んでいます。一方でアドバイザーの方は忠実義務(Fiduciary Duty)です。これはSECのルールで、要するにお客様のために完全に中立な、独立した立場で一番良い商品をアドバイスしなければならないということです。これでわかるように販売員の方にも、アドバイザーの方にも厳しいルールが課されてきています。

重要なことは販売員とアドバイザーの両者の間に、はっきりとした線を引いているということです。日本ではその点が曖昧なように思います。Fiduciary Dutyという英語が「顧客本位の業務運営」となり、何かみんな当てはまってしまうような、少々漠然とした表現になっています。だいたい、今さら「顧客本位の」と言うなら、今まではどうだったんだと思ってしまいます。私は日本でもこれから販売員とアドバイザーは分離していこうと思っています。そうしてこそ本当に独立したプロのアドバイザーが育っていく。私どもはそのようなアドバイザーをFIWAと呼んでいるわけです。FIWAは「みんなのお金のアドバイザー協会」の英語名、Fiduciary and Independent Wealth Advisorsの略です。

「F」はお客さまファースト、自分ラーストの忠実なアドバイス。「W」は利益相反が直接、間接に全くないアドバイザーです。「W」はウェルスで物心両面での豊かさをアドバイスする。単にファイナンシャルだけではなく富全体をいかに豊かにしていくか、ライフプラン

本当に信頼して相談できるアドバイザーとは？

キーワードはFIWA

- F** Fiduciary
忠実(フィデューシャリー)なアドバイス
- I** Independent
利益相反のまったくない独立したアドバイス
- W** Wealth
物心両面での豊かさのためのライフプランをアドバイス
- A** Advisor
知識、経験、倫理観に基づくアドバイスに専業

©2018 IFA America, IO Wealth Advisors, Inc. All rights reserved.





長期投資仲間通信「インベストラ이프」

を含む人生のためのアドバイスです。そして最後が「A」、アドバイザーです。ここでいうアドバイザーはプロのアドバイザーです。プロの条件は知識と経験だけではありません。最も重要なのはプロとしての倫理観をしっかりと持っているということです。そして専門のアドバイザーである。そのような立場にあるのが FIWA であると私どもは考えています。

プロとして合法的な業務遂行するのは当たり前のことです。法律に違反してはいけないのは言うまでもないことです。ただプロはそれだけではなく、倫理観と行動規範に基づいた業務運営をすることが求められているのです。それをすることによってアドバイザー業務というものが世の中に認められ、尊敬される職業になっていくのだと思います。これが本当のプロです。最も大切なことは倫理規範と職業行為基準です。この倫理規範と職業行為基準については我々3人長い時間をかけて検討して作り上げました。ホームページで公開していますので是非ご覧になってください

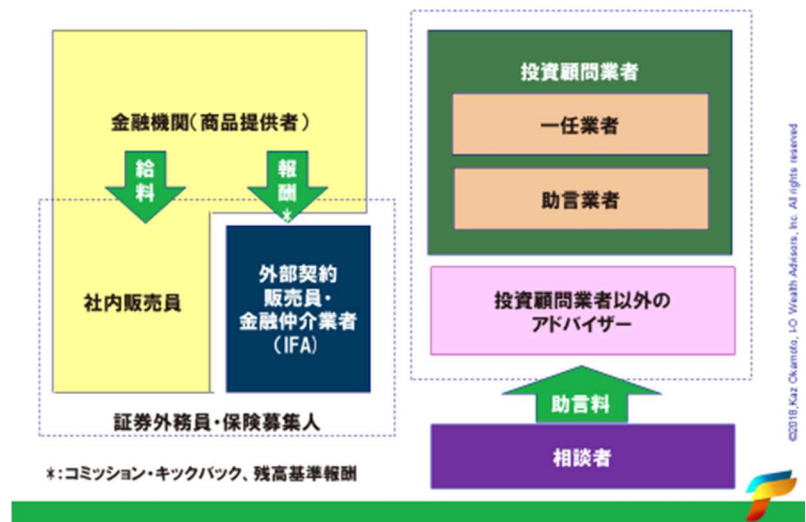
お客様は適切なアドバイス料をアドバイザーに対して支払わなければならない。同時に、アドバイザーはお客様がアドバイス料を払うに値するようなアドバイスを与えなければいけない。この双方向での変化が必要なのです。価値が無いからお客様はアドバイスはタダだと思っているのです。価値があればお金は払います。そのようになっていかなければいけない。

このスライドを見てください。会社にも所属している販売員は当然、販売する商品はその会社の取扱商品です。これは明らかです。極めて明確です。社員として販売をしているのだから当然、その会社の商品を売っているわけです。

一方、金融仲介業者という人たちもいます。この人たちはその金融機関の商品を販売してコミッションやキックバックを受け取っています。確かに金融機関の社員ではないので「私たちは独立している」という言い方をしています。それは嘘ではないのですが、実は金銭的には独立をしていない。その金融機関の商品を販売するという点では社内の販売員と変わりがないわけです。

一方で投資顧問業者という人たちがいます。投資顧問業者には一任業者と助言業者という二種類があります。さらに投資顧問業以外のアドバイザーもいるわけです。この最後のグループの人たちと自称独立と称する仲介業者との間が極めてあいまいになっています。これが今回非常に重

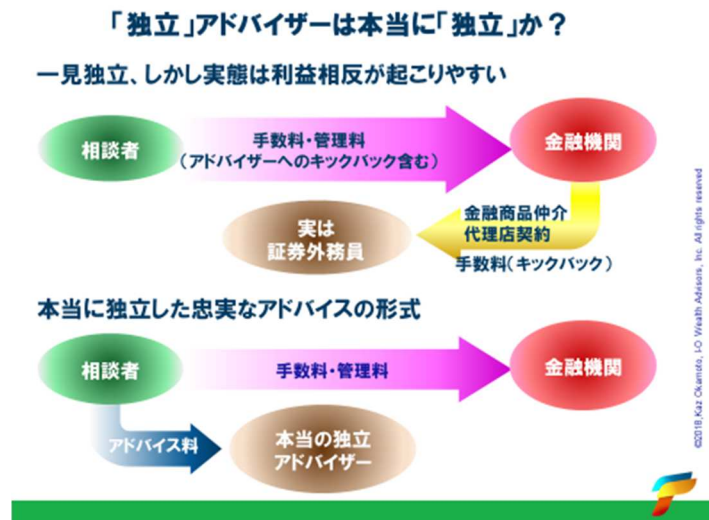
販売員とアドバイザー





長期投資仲間通信「インベストライフ」

要なポイントになっているわけです。前者の人たちは相談者が直接アドバイス料を支払います。これは金融機関に所属している人や、仲介業者と全然違うわけです。金融機関に所属している人は当然金融機関から給料をもらっているし、仲介業の人は金融機関からコミッションやキックバックなどをもらっているわけです。しかし、これから本当に重要なのは相談者であるお客様から直接、相談をもらうアドバイザーです。もっと分かりやすく言えば、後ろからもらっているかあるいは前からもらっているかという違いです。(右図)



やはり本当に価値のあるものであれば当然、料金は払わなければいけません。料金を取れるようにアドバイザーはなるべきです。そうなれるようにアドバイザーは自己研鑽していかなければいけないわけです。

アドバイザーのフィーの型式にはいくつかあります。まず、これまで投資の経験もあまりなかった生活者にとっては、プロジェクト・ベースの料金体系が一番しっくりくるかと思います。口座開設から始まり、積立投資の手続きまでの一連の作業を傍らに寄り添ってサポートしてあげる。プロジェクトではなく、それを所要時間で契約することもあると思います。それから、リッチな富裕層の場合などだと資産残高に対して何パーセントというような決め方もあります。日本でも富裕層に対するそのようなサービスもありますが、今、最も求められている普通の生活者が将来のためにどのように資産運用するかという点で考えればやはりプロジェクト・ベースではないかと思います。典型的には資産・負債、収入・支出などお金に関する現状を把握し、将来に向けてのライフプランを作り、そのライフプランに基づいたアドバイスを与えていくということになるわけです。

よく「ファイナンシャルプランナー(FP)だからお金の専門家だ」と言います。それはその通りです。非常に難しい試験に合格をした人たちです。お金の事についてはよく知っているだろうと思われま。私はちょうどFPの資格は英検一級のようなものではないかと考えています。英検一級を持っている人は外交官になった人もいますし、グローバル企業で活躍している人もいます。また、起業家になっている人もいます。あるいは英語の先生になっている人もいます。いろいろな職業に就いているわけです。ですから英検1級を持っているから外交問題の専門家かと言えばそういうことはないでしょう。



長期投資仲間通信「インベストラ이프」

ファイナンシャルプランナーも同じです。いろいろな分野で働いています。金融機関に所属して販売員になったり、あるいは窓口でお客様に対応したりしている人もいます。また、運用に関連したことをしている人もいるし、あるいはコメンテーターをしている人もいるかもしれない。いろいろな人がいます。アドバイザーというのもその一つです。

確かにアドバイザー業界で活躍するファイナンシャルプランナーもたくさんいます。しかし、ファイナンシャルプランナーであればすべて適切なアドバイスができる人とは限りません。それぞれの分野でそれぞれの人がプライドを持って自分の仕事をすればいいのです。それぞれの分野のプロとして仕事をすればいいのです。FIWA の条件を満たすアドバイザーとなるには FP でなければならぬということはありません。アドバイザーとして適した知識と経験と倫理観を持っている人であればいいわけです。

投資顧問業務の中にも一任業者と助言業者があるということをお話ししました。一任業者の場合には相談者に代わって銘柄選択から発注まで行うことができます。助言業者の場合は、銘柄の価値の分析、売買のタイミングなどについてアドバイスすることは許されています。しかし、相談者に代わって発注することはできません。アドバイスに基づいて相談者が自ら発注をすることになるわけですね。

投資顧問業者ではないアドバイザーの場合には、これらはできません。ただし、特定の人の状態を前提にしたアドバイスではなく、本などでコメントを書くことは許されています。個別のお客様に対して「あなたの場合にはこの銘柄を買うといいですよ」とか「資産の配分はこのようにしましょう」などとアドバイスすることは許されていないのです。

投資顧問業者になるには一任業は無論のこと、助言であってもかなり金銭的なハードルが高いのです。また、組織や人員の面でも非常に条件が厳しいのです。しかし、私は日本で今一番求められているのは投資未経験の生活者をきちんとルールに乗せてあげて、後は自分で走れるようにしてあげることだと考えています。私はそこに非常に大きなビジネスとしてのポテンシャルもあると思っています。その意味では必ずしも投資顧問業者にならなくても生活者をサポートしてあげることが十分にできると考えています。

最近、アメリカでは「アドバイザー・アルファ」が注目されています。どういうことかというアドバイザーを使うことによって、正しい運用ができ、その結果としてパフォーマンスが上がるということです。もちろん、それはアドバイス料を超えたパフォーマンスが上がるということです。私はこれからこの点は非常に重要なポイントとして注目されるだろうと思っています。これはバンガード社による調査ですが、アドバイザーを使うことによってパフォーマンスが年間 3% ぐらい上がると試算しています。



長期投資仲間通信「インベストラ이프」

アドバイザーを使わなかったり、あるいは問題のあるアドバイザーにつかまったりした場合には、ざっと考えても次のようなマイナス・アルファ要因があります。

- ライフプランと整合性のないアセット・アロケーション
- 無駄の多いアセット・ロケーション
- リスク許容度を超えた投資対象の選択
- 長期投資に不適切な銘柄選択
- リターンに報われないリスクを取る
- コストの高い投資対象の選択
- 不必要な回転売買と銘柄入れ替え
- 相場の乱高下に心が乱され投資家が投資方針と異なる行動をとってしまう

これらのマイナス要因を取り除くことで、アドバイス料以上のプラス効果があるということです。

バンガード社のリサーチではこの最後の行動に関する部分がアドバイザー・アルファの半分ぐらいを占めているとしています。行動ファイナンスの分野などに関係しますが、投資の間違いいにはメンタルな部分が非常に多いということです。それをちゃんと正してあげるのもアドバイザーの仕事です。生活者に本当に親身になって寄り添ってあげる、これがとても重要なことだと思います。そのようなアドバイザーを世の中にもっと増やしたい、そういう願いを持って「みんなのお金のアドバイザー協会」を設立したわけです。

私は FIWA の活動モデルを人力車モデルと呼んでいます。車夫に相当するのが当協会の組織と正会員、准会員の皆さんです。車輪が二つあるわけですが、これが二つのミッションです。一つが生活者のためのミッションであり、もう一つがアドバイザーのためのミッションです。そしてこの人力車が進んでいく目的地、これがビジョンになるわけです。そのビジョンは以下のようなものです。

「当協会は、生活者が経済的束縛から解放され豊かで
幸せな人生を実現できるための支援活動を行います」

これが最終的なビジョンであり、そこに向かって我々が進んでいくわけです。二つの車輪は生活者とアドバイザーのためのミッションです。

生活者のためのミッション

「人生を通じてのお金との正しい付き合い方の知識を
普及し、自ら合理的・効果的な資産運用を実行し、ま



長期投資仲間通信「インベストラ이프」

た、アドバイザーとの効果的・生産的な関係を構築できるように金融・投資教育を行います」

アドバイザーのためのミッション

「生活者のためのライフプラン、金銭、投資、資産運用等に関するアドバイスを完全に利益相反のない形で行い、当協会の理念に基づき行動するお金のアドバイザーを育成、認定、支援する」

そしてこの協会にご寄付をいただく方々はこの人力車を後押しをしてくださるみなさまです。私はこれを FIWA の人力車モデルと呼んでいます。このような形で我々は進んで行くつもりです。

この協会がどんな活動をするかについて少しご説明します。一つは、私が今まで続けてきたマンスリー・セミナーは 4 月から FIWA マンスリー・セミナーとなります。これまで通り私が資産運用の話をすると同時に、幅広い分野のゲストをお呼びしてお話を伺います。知識を得ることも重要ですが、このような上限 20 人ぐらいのサロンの雰囲気の中でネットワーキングをするということも重要なことだと思っています。

もう一つは岩城さんが 9 年ほど続けているサムライズ勉強会があります。これも FIWA サムライズとなります。プロ向けに幅広いアドバイザーとして必要な知識を提供するアドバンス・コースと、生活者のための一般コースの二つ出来ます。

さらに今年の 1 月号からインベストラ이프が FIWA 通信「インベストラ이프」となりました。毎月ネットベースで無料で配信をしています。企業広告を取らない、筆者は個人としての本音を述べる、そして、短期的な相場見通しや銘柄の推奨は一切しないことを原則にしています。

会員は 3 種類あります。FIWA の全ての条件を満たす方は正会員です。正会員にはロゴを提供しますのでホームページや名刺などに使っていただくことができます。当協会のホームページで正会員の方を紹介しそれぞれのホームページにリンクを貼ります。これによって本当に信頼できるアドバイザーを生活者が探しやすくなります。

それから准会員という制度を設けました。正会員を目指しているけれども現状ではまだ完全に FIWA の条件を満たしていない人たちです。現在、自分が行なっている仕事に疑問を感じていて、FIWA の正会員になりたい、ただ現状ではどうしても条件をすべて満たすことができないというケースが非常に多かったために設けた制度です。そのような方々もサポートして正会員に引き上げていきたいと思っています。



長期投資仲間通信「インベストラ이프」

一口 1000 円で 6 口以上の寄付をいただいている方を FIWA 友の会の会員として動画で情報を配信したり、あるいはメッセージや情報をお送りしたりします。

私たちはイチから始めるのではありません。ゼロから始めるのです。何もないところから何かを作り出すのは非常に大変です。でも、それを我々はやっていこうと決意しています。10 年後に大きな変化が起こっていればいいなと思っています。3 年先を見ても大したことはできません。大きく世の中を変えようと思ったら最低 10 年先を見なければいけないと思っています。10 年経った時に、「あ、ずいぶん変わっていたな」と気がつけばいいのです。

毎日、毎日、1 ミリずつでも目標に近づいていけるように頑張っていきたいと思います。ですから、みなさま、どうぞこの活動に参加してください。応援してください。「みんなで世の中を良くしていきましょう」というのが我々のメッセージです。一緒に世の中を変えていきたいという情熱を持った方に参加していただきたいのです。世の中が変わったら私も参加しますじゃないのです。世の中を一緒に支えていきましょう。それが本当に日本の生活者のためになるのです。

ビジョンを実現するためにいろいろな困難があるのは分かっています。私たちは最も厳しい基準をもうけ、妥協しないで純粋性を保つ、そして前を向いて毎日、毎日、少しずつでも目標に向かって進んでいく。これは決意表明です。とにかく、私個人としてはこういう組織ができてこのような活動が始まったことをとても嬉しく思っています。是非皆さんにもこの活動に参加していただきたいと思っています。今日はご清聴ありがとうございました。

<モデルポートフォリオ:2020年3月末の運用状況>

単位：%

		トータルリターン				リスク	1万円ずつ積み立てた場合の 投資額に対する騰落率			
		1か月	1年	5年 (年率)	10年 (年率)	10年 (年率)	1年 12万円	5年 60万円	10年 120万円	2000年1月 ~ 243万円
4資産型	積極型	-8.03	-8.13	1.32	6.91	14.87	-10.15	-0.24	39.08	70.05
	成長型	-5.36	-4.17	1.37	5.65	10.35	-6.04	1.70	30.35	59.25
	安定型	-2.68	-0.36	1.22	4.21	6.29	-1.93	3.20	21.65	46.46
2資産型	積極型	-10.80	-9.56	1.34	7.29	16.18	-11.91	0.55	40.16	82.96
	成長型	-6.95	-4.54	1.31	6.07	11.89	-6.75	2.68	32.74	70.36
	安定型	-3.10	0.36	1.07	4.69	8.16	-1.58	4.34	25.09	55.51

* 投資にかかるコストは控除していない。積み立ては、税引き前分配金再投資。ポートフォリオは毎月リバランスをしたものとする。積み立ては計算月数分を運用したものとする。例えば1年の場合は2019年3月末に1万円投資資金を積み立て始め、2020年2月末の投資資金までとする(2020年3月末積み立て分は運用期間がないため含めていない)。出所:イボットソン・アソシエイツ・ジャパンがMorningstar Directにより作成。Morningstar Directについてのお問い合わせは、イボットソン・アソシエイツ・ジャパンのお問い合わせメール(<https://www.ibbotson.co.jp/contact-us/>)まで。

ポートフォリオの資産配分比率(外貨建て資産は円換算ベース)

4資産型		国内株式: TOPIX	外国株式: MSCI KOKUSAI	国内債券: NOMURA- BPI (総合)	外国債券: FTSE WGBI (除く日本)	
		積極型	40%	40%	10%	10%
		成長型	25%	25%	25%	25%
		安定型	10%	10%	40%	40%
2資産型		世界株式: MSCI ACWI (含む日本)		世界債券: FTSE WGBI (含む日本)		
		積極型	80%	20%		
		成長型	50%	50%		
		安定型	20%	80%		

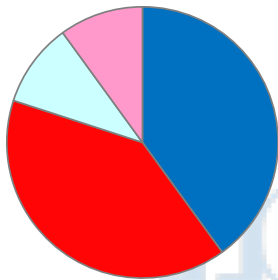
ポートフォリオは「インベストラ이프」が参考のために考案した資産配分に基づき、イボットソン・アソシエイツ・ジャパンがデータを算出しています。特定の資産配分による投資の推奨を行うものではありません。

「長期投資仲間」通信『インベストラ이프』のその他の記事はこちらからご覧ください。
<http://www.investlife.jp/>

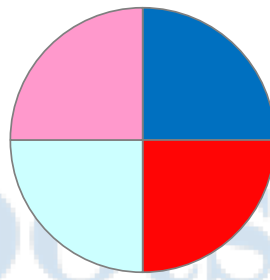
4資産型

- 国内株式: TOPIX
- 外国株式: MSCI KOKUSAI
- 国内債券: NOMURA-BPI (総合)
- 外国債券: FTSE WGBI (除く日本)

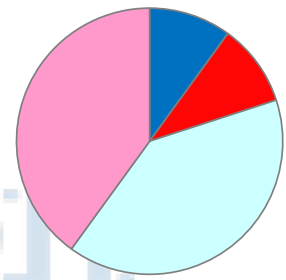
積極型



成長型



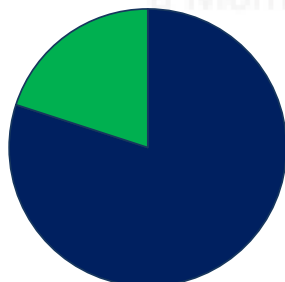
安定型



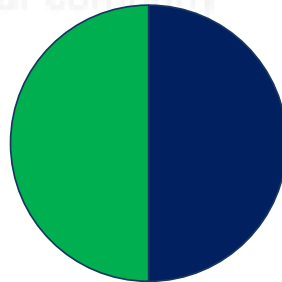
2資産型

- 世界株式: MSCI ACWI (含む日本)
- 世界債券: FTSE WGBI (含む日本)

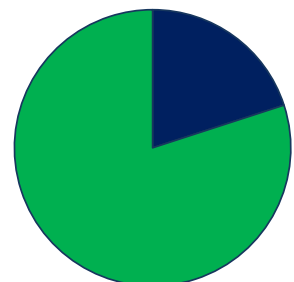
積極型



成長型



安定型



<純資産上位ファンド(毎月および隔月決算型を除く): 2020年3月末の運用状況>

当資料は「インベストライフ」のために、イボットソン・アソシエイツ・ジャパンがデータを算出、作成しています。特定の投資信託による投資の推奨を行うものではありません。
※ファンド名をクリックすると「投信まとなび」でそのファンドを見ることができます。

「長期投資仲間」通信「インベストライフ」の
その他の記事はこちらからご覧ください。
<http://www.investlife.jp/>

今回順位	前回(19年12月末)順位	運用会社名	ファンド名	トータルリターン				リスク	1万円ずつ積み立てた場合の投資額に対する騰落率				1万円ずつ積み立てた場合の月末資産額				2020年3月末		イボットソン分類	
				1ヵ月	1年	5年(年率)	10年(年率)		10年(年率)	1年12万円	5年60万円	10年120万円	2000年1月~243万円	1年12万円	5年60万円	10年120万円	2000年1月~243万円	純資産(億円)		基準価額(円)
1	2	三井住友トラスト	次世代通信関連 世界株戦略ファンド	-9.33	-1.26	-	-	-	-5.38	-	-	-	-	11.35	-	-	-	4,861.3	10,462	外国株式・世界型
2	1	レオス	ひふみプラス	-2.40	-6.36	6.98	-	-	-7.64	6.92	-	-	-	11.08	64.15	-	-	4,645.9	34,945	国内株式・キャッシュバランス型
3	3	AM-One	グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド(為替ヘッジなし)	-9.19	-0.05	-	-	-	-5.66	-	-	-	-	11.32	-	-	-	3,823.4	16,731	外国株式・世界型
4	7	日興AM	グローバル3倍3分法ファンド(1年決算型)	-17.04	-7.41	-	-	-	-14.15	-	-	-	-	10.30	-	-	-	3,498.0	10,373	アロケーション・その他
5	8	ゴールドマン・S	netWIN GSテクノロジー株式ファンド Bコース(為替ヘッジなし)	-5.93	4.87	11.06	14.54	23.10	-2.42	37.21	132.19	230.13	11.71	82.32	278.63	802.22	3,427.1	14,785	外国株式・北米型	
6	4	フィデリティ投信	フィデリティ・日本成長株・ファンド	-7.22	-6.44	1.21	5.66	18.91	-9.84	-2.99	35.54	48.27	10.82	58.20	162.65	360.29	3,230.9	20,222	国内株式・大型成長型	
7	11	東京海上AM	東京海上・円資産バランスファンド(年1回決算型)	-5.42	-4.30	0.62	-	-	-5.80	-1.47	-	-	-	11.30	59.12	-	-	2,867.5	10,746	アロケーション・安定型
8	6	日興AM	グローバル・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型)	-11.60	-5.85	-	-	-	-10.23	-	-	-	-	10.77	-	-	-	2,699.7	8,075	外国株式・世界型
9	10	さわかみ投信	さわかみファンド	-5.90	-10.79	-0.65	4.63	18.26	-11.45	-6.46	28.22	53.49	10.63	56.12	153.87	372.98	2,546.8	21,515	国内株式・大型ブレンド型	
10	9	日興AM	グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)	-11.64	-5.70	-	-	-	-10.14	-	-	-	-	10.78	-	-	-	2,425.3	13,459	外国株式・世界型
11	12	野村AM	野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド Aコース(為替ヘッジあり 年2回決算)	-8.68	-6.53	-	-	-	-7.79	-	-	-	-	11.06	-	-	-	2,417.6	9,905	外国債券・世界型(円ヘッジ)
12	5	野村AM	野村インド株投資	-31.50	-30.02	-4.16	2.16	26.70	-30.75	-21.79	8.14	-	-	8.31	46.93	129.76	-	2,284.8	17,675	外国株式・インド型
13	13	大和投信	ロボット・テクノロジー関連株ファンド -ロボテック	-9.65	-5.22	-	-	-	-9.26	-	-	-	-	10.89	-	-	-	1,942.3	11,735	外国株式・世界型
14	18	AM-One	投資のソムリエ	0.13	4.25	1.52	-	-	1.52	7.47	-	-	-	12.18	64.48	-	-	1,934.9	12,008	アロケーション・リスクコントロール型
15	15	セゾン投信	セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド	-9.11	-3.65	0.81	5.52	12.06	-6.23	1.99	29.68	-	-	11.25	61.20	155.62	-	1,823.7	14,063	アロケーション・標準型
16	16	日興AM	インデックスファンド225	-9.71	-9.32	1.13	6.94	19.13	-12.56	-1.32	43.79	66.96	10.49	59.21	172.55	405.71	1,802.5	5,272	国内株式・大型ブレンド型	
17	28	AM-One	日経225ノーロードオープン	-9.67	-9.38	0.89	6.58	19.08	-12.57	-1.84	41.15	60.74	10.49	58.89	169.38	390.61	1,668.0	13,450	国内株式・大型ブレンド型	
18	14	三井住友DS	グローバルAIファンド	-11.50	-8.03	-	-	-	-9.59	-	-	-	-	10.85	-	-	-	1,633.6	14,720	外国株式・世界型
19	21	アムンディ	SMBC・アムンディ プロテクト&スイッチファンド	-8.72	-7.72	-	-	-	-8.96	-	-	-	-	10.92	-	-	-	1,421.3	9,171	アロケーション・リスクコントロール型
20	20	AM-One	グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド(年2回決算型)(為替ヘッジなし)	-9.16	-0.12	-	-	-	-5.67	-	-	-	-	11.32	-	-	-	1,404.2	9,724	外国株式・世界型

対象は追加型株式投資信託のうち2020年3月末時点で1年以上の運用実績があるもの(毎月・隔月決算型、ETF・DC・SMAなど専用投資信託を除く)。積み立ては税引き前分配金再投資、計算月数分を運用したものとす。例えば1年の場合は2019年3月末に1万円で積み立てを開始し、2020年2月末投資分までの2020年3月末における運用成果とする(2020年3月の積み立て額は入れない)。出所: MorningstarDirectのデータを用いてイボットソン・アソシエイツ・ジャパンが作成。MorningstarDirectについてのお問い合わせはイボットソン・アソシエイツ・ジャパンのお問い合わせメール(<https://www.ibbotson.co.jp/contact-us/>)にてご送信ください。